

柄鏡や木の入れ歯などを展示

當信寺で阿梅姫の副葬品を特別公開

8月23日、阿梅姫のお墓がある當信寺で、阿梅姫の副葬品が一般向けに特別公開されました。この催しは、NHK大河ドラマ「真田丸」の放送を記念し、この日限定で開催。以前、隣接する公園の拡張工事に伴い、阿梅姫のお墓を移転した際に発掘された柄鏡や木製の入れ歯など、遺品27点が展示されました。この日は市内外から約200人が来場。来場した女の子は「前に新聞に載った時、おじいちゃんに阿梅姫のことを教えてもらって興味を持ちました。本物の木の入れ歯を見てすごいなあと感じました」とうれしそうに話してくれました。



▲副葬品を興味深く観察する来場者

ドキドキしたけど楽しかった！

白二小と齋川小の児童が統合に向け初交流

9月13日、白石第二小学校と齋川小学校の児童による交流会を白二小で開催しました。この交流会は、平成30年4月の学校統合に向け、安心して新しい学校生活を迎えることができるように初めて開催。この日は、齋川小全児童19人が白二小を訪問。初めに、齋川小を代表して6年生の村上麗奈さんと大浦陸くんが「二小の皆さんと交流できることが楽しみです。一日よろしくお祈りします」とあいさつ。その後各学年に分かれ、クラスでお楽しみ会などで交流を深めました。統合に向けた交流会は、今後も開催していく予定です。



▲白二小の児童と初対面の齋川小児童たち

この貴重な経験は将来の財産です！

オーストラリア友好親善訪問団が元気に帰国しました

8月18日、市内の中学生10人、引率者2人による「オーストラリア友好親善訪問団」の解団式が、市役所会議室で行われました。21回目となった今回の訪問は、姉妹都市ハーストビル市が近隣市と合併したことにより、同市が交流事業に携われず、日本と縁の深いカウラ市で、学校体験やホームステイを行ってきました。

同団の訪問期間は7月27日から8月4日までの9日間。期間中の7月30日に日本庭園で行われたホストファミリーとの交流会では、訪問団員が「うめん体操」を披露したほか、書道・折り紙・陣羽織を羽織ってのチャンバラ体験などを行い日本文化を紹介。8月2日には(一財)自治体国際化協会シドニー事務所を訪問し、海外で働く日本人スタッフの話や聞くなど貴重な体験をしました。団員たちは、オーストラリアの生活にじかに触れ、文化の違いを感じ取ったり現地の人たちとの有意義な交流を行ったりして、ひとまわり大きく成長して帰国。

帰国後の解団式で、団員たちは「積極的にコミュニケーションをとる目標を達成できました」「もっと英語を学びたいです」「文化の違いに驚きました」など、さまざまな感想を話していました。また、引率した安達まゆみ団長は「外国の文化を知り日本文化を伝える、草の根の交流ができました。この貴重な経験を今後活かして

ほしいです」と充実した訪問を振り返っていました。



1_カウラへの移動途中、ブルーマウンテンを見渡せるエコポイントにて撮影 2_カウラの日本庭園でホストファミリーと交流。一緒に折り紙をしました 3_カウラハイスクールの日本語授業に参加。グループに分かれて書道や万華鏡作りを紹介しました

伝統文化っておもしろい！

文化芸術による子供の育成事業 巡回公演事業

8月29日から31日までの3日間、碧水園で、市内小中学校の生徒を対象に能楽鑑賞会を開催しました。この催しは、文化庁の「平成28年度文化芸術による子供の育成事業『巡回公演事業』」の一環で実施。8月31日には東中学校2年生など約150人が参加。観世流皐風会(小島英明代表)による能「羽衣」と狂言「柿山伏」を鑑賞した後、同校の代表生徒10人が、狂言でよく使われる「このあたりのものでござる」などの言葉で狂言の発声を体験しました。体験した生徒は「日本の伝統文化を体験できて良かったです…難しかったです」と話してくれました。



▲狂言「柿山伏」の一節を体験する同校の代表生徒たち

高齢者福祉向上のために

メガネの相沢が老眼鏡を寄贈

9月13日、株式会社メガネの相沢の遠藤将行白石セラビ店長が市役所を訪れ、老眼鏡引換券20組の目録を風間市長に手渡しました。同社は、敬老の日に合わせて、平成5年から、高齢者福祉向上のために、毎年宮城・福島・山形・岩手県の13市4町に老眼鏡を寄贈。遠藤店長は「この老眼鏡を使うことで新聞や手紙などが見えやすくなり、ご高齢の方々の生活がより豊かになってもらえたらうれしいです」と笑顔で話してくれました。

市では、民生委員を通じて、介護老人福祉施設や一人暮らしの高齢者などに引換券を配布する予定です。



▲風間市長に目録を手渡す遠藤店長(左)

明るい地域社会実現のために

東北電力グループがLED防犯灯などを寄贈

8月31日、東北電力株式会社の清野敦白石営業所長と株式会社ユアテックの安田将之白石営業所長が市役所を訪れ、LED防犯灯10VA型10灯とLED防犯灯設置取り付け工事一式の目録を風間市長に手渡しました。この寄付は、地域社会の明るいまちづくりの支援を目的に、昭和40年から続いているものです。今回寄付された防犯灯は、郡山宇平成や松ヶ丘二丁目、越河平字館山地区内などに設置予定。清野所長は「この防犯灯で地域を明るく照らし、安心・安全なまちづくりに役立ててもらえたらうれしいです」と笑顔で話してくれました。



▲目録を市長に手渡した清野所長(左)と安田所長(右)

人形劇でいのちの大切さを学ぶ

ふれあいプラザで巡回人形劇

8月26日、ふれあいプラザで人形劇を開催しました。この催しは毎年実施。今回は劇団すぎのこの巡回劇場「そっくりのくりのき」を上演。市内保育園の年長児や親子づれなど169人が来場しました。人形劇はアンパンマンの作者、やなせたかしさんの原作で、「いのちは受け継がれていく」というテーマ。子どもたちには少し難しいテーマでしたが、参加した子どもたちは人形に声援を送りながら楽しく鑑賞していました。鑑賞した人たちは「感動した」「くりのきがかわいそうだった」などの感想の声！ 来場者たちの心に残る人形劇になりました。



▲巧みに人形を操る劇団すぎのこの団員